4/25（日）　写真ｺﾋﾟｰ　Teacher　送別ﾗﾝﾁ

ﾊﾟｿｺﾝが韓国ﾊﾞｰｼﾞｮﾝなので、操作が判らずﾃﾞｰﾀｰを消失しまった事は前にも書いたが、Teacher ﾉｴﾐの家に行った写真の一部を焼いてﾉｴﾐに渡していた。　書店で写真をｺﾋﾟｰするｻｰﾋﾞｽがあると聞いてので、ﾉｴﾐから写真を借りｺﾋﾟｰしたが、粗雑なｺﾋﾟｰで写真といえる代物ではなかった。

その後、ｶﾒﾗ屋で精巧に複写出来ると聞いたので、複写しに行った。私の英語では上手く話が通じない恐れがあったのでﾉｴﾐに日曜日の礼拝の帰りに付いて行って貰った。

御礼のﾗﾝﾁは、ﾉｴﾐと親しい Teacher ﾏﾘｱが辞めるので彼女の教え子ﾄﾐｰが中心になって送別ﾗﾝﾁを開く事になった。ﾉｴﾐも呼ばれていたので、私も合流した。会食場所はｲﾀﾘｱ料理やでﾋﾟｻﾞを中心に食べた。ﾌｨﾘﾋﾟﾝの若い子もこの手のﾌｧｰｽﾄﾌｰﾄﾞがお好みらしい。

食事が終わり、ｶﾒﾗ屋に行きｺﾋﾟｰを頼みﾊﾞｰﾍﾑ公園の植物園に行った。

ここは公園のはずれにあり、池の周りは人が多いが、ここはすいていた。きれいな花もかなりあり穴場だな。

帰る頃に急にｽｺｰﾙが来て、約２時間雨宿りをした。雨宿り中、暇なもので彼女たちが色々ﾊﾟﾎｰﾏﾝｽｦして楽しませてくれた。ﾌｨﾘﾋﾟﾝ人は役者が多いな。

その後 SM でﾃｲｸｱｳﾄの夕食を買い、ｶﾒﾗｼｮｯﾌﾟで出来上がったｺﾋﾟｰ写真を受け取り帰宅した。写真はきれいに仕上がったが高かった。写真機からﾌﾟﾘﾝﾄすると１枚 20 円程度だが 200 円近くした。

ｲﾀﾘｱ料理のﾌｧｰｽﾄﾌｰﾄﾞ店

植物園の花壇の前

4 月 27 日（火）　ﾏﾅﾎﾃﾙ

　この学校には日本に連絡事務所がある。ﾊﾞｷﾞｵに来る前に、私は花粉逃避が主目的で楽しく学校生活を送りたいので、美味しい料理店と健全な飲み屋を紹介してくれるように頼んだ。何軒か紹介して貰ったが、特にｷｬﾝﾌﾟｼﾞｮｳﾍﾞｲの高級ﾎﾃﾙ「ﾏﾅﾎﾃﾙ」のﾊﾞｰを推薦してくれた。雰囲気が良く、夜景がきれいだそうだ。

到着当初から、訪れたいと思っていたｶﾞ中々機会ｶﾞなかった。

残りも後 3 夜となってしまったので、今夜、今まで旅行など行動を一緒にしてくれたﾊﾞｯﾁﾒｲﾄのやよ、ｱｽﾞ、ｳｲﾘｱﾑｽとちえをお世話になったお礼に招待した。

校門のｹﾞｰﾄからﾀｸｼｰに乗って 25 分位で町の中心へ行くより少し遠いかな。

ﾎﾃﾙは 1 人で行ったら入るのに躊躇しそうな位ｺﾞｰｼﾞｬｽな雰囲気だった。ここのｹｰｷ類が美味しいと聞いていたので、ｶﾌｪｰで夫々注文してそれをﾊﾞｰに持ち込み、つまみに一杯飲んだ。話が弾み、一杯づつしかｱﾙｺｰﾙを注文しないのに 2 時間半以上粘った。さすが一流ﾎﾃﾙだけあって、ｽﾀｯﾌは少しもいやな顔をせず接してくれた。

このﾎﾃﾙはすべてｺﾞｰｼﾞｬｽだったが、ﾎﾃﾙ内のﾄｲﾚが特に立派だった。

ﾄｲﾚ室の中です

また夜景がすばらしいと聞いていたので、町を見下ろす夜景を想像していたが違った。庭に色々のモニュメントや滝などの造園の物をﾗｲﾄｱｯﾌﾟしていた。庭には芝生が引締められ誰でも自由に散策できる。ﾌｧﾝﾀｽﾃｨｯｸな感じであった。
帰ったら血圧が 227-135 と最高値だった。
あと少しだが気を付けよう。
さすがにやばいと感じた。　Never　Die　in　Buguio（ﾊﾞｷﾞｵで死ねないよ！）

4/28（水）　歓送迎会

一ヶ月前に入学した学生で何人かが明日（29 日）に帰国する。彼らのﾊﾞｯﾁﾒｲﾄがﾌｪｱｳｪｱ Pearty（送別会）を開く事になった。ついでに最近入学した新入生の歓迎会も兼ね様ということになったらしい。私も明後日（4/30）帰るので、私の送別会は明日計画されている。しかしついでにと言う事で私にも声が掛かったので参加した。
会場は MS（ﾊﾞｷﾞｵ最大のﾃﾞﾊﾟｰﾄ）内のﾌｨﾘﾋﾟﾝ料理屋であった。
主催者の宴会の進行の手際があまりよくなかった。だらだらと進みあまり盛り上がらなかった。そろそろお開きにする頃、参加予定者が遅れて参加の Tel があったらしい。それを待って、彼が食事をすますまで、皆で手持ち無沙汰に待っていた。10 時頃終了予定が 11 時 30 分頃になってしまった。
それからﾀｸｼｰで帰る事になったが、日本と同じでその時間帯はﾀｸｼｰのﾗｯｼｭｱﾜｰで街中では

全然拾えないので、やむなく MS（総合ﾃﾞﾊﾟｰﾄの名）のﾀｸｼｰ乗り場で待った。物凄く混んでいた。1 時間半近く待ったのでは無いだろうか。
主催者がｱﾄﾗﾝﾀﾞﾑに多くの人に声を描けたので 20 人以上集まったが、夫々あまり面識が無い人も多く、白けているｸﾞﾙｰﾌﾟと調子に乗っているｸﾞﾙｰﾌﾟの落差が激しかった。主催者は皆が楽しめるよう気を使って進行すべきだ。明日の私の送別会は気をつけよう。

4/29（木）　私の送別会
今日は私の送別会だ。企画者のｺｰﾘｬﾝのカンが急に腹下しを起し、出席できなくなったので急きょ幹事が「ﾊﾟﾘ人」「せいちゃん」に変わった。
昨晩のしらけた宴会があったので、今日は充実したいと思い、特別に縁のあった人に声を掛けて貰った。当初は私だけの予定だったが、ｺｰﾘｬﾝが 2 人帰ることに成ったので合同でやった。
ﾌｨﾘﾋﾟﾝ料理屋で午後 7 時頃より 20 人位集まって結構盛り上がった。しかし相変わらず私は血圧が高いので、酒はｾｰﾌﾞして皆ほど盛り上がれなかった。本当は最後なので皆と盛り上がりたかったが、「NEVER DIE IN Baguio」（ﾊﾞｷﾞｵでは死ねないよ）をﾓｯﾄｰにこれまで自重していたので、泣く泣く我慢した。
酒と料理が無くなった所で、早めにお開きにして貰った。
最後に英語で挨拶したが、来た時と変わらず英語の上達はあまりなかったなあ。
私と幾人かはすぐに宿舎に帰ったが、大部分は二次会で近くの「クボグリル」に繰り出した。
二次会の後、三次会に行ったそうでその時は韓国人、日本人と別ｸﾞﾙｰﾌﾟに成ったらしい。

まだ我々の英語では細かい所までは話が通じ、最後は自国語でﾘﾗｯｸｽしたみたいだったらしい。
宿舎に帰り血圧を測ったら　191 - 122　まだ高いな。明日は帰国日だ。あと一日何とか無事に過ごし、帰国したいものだ。

送別会　よく遊んだ仲間達

4/30（金）　授業終了　帰国
今日が BECI の授業の最後の日であった。
ﾏﾆﾗ行きの高速ﾊﾞｽが深夜 0:30 発までの長い一日であった。
学校では先生方と最後の挨拶をして、授業終了後、最後の部屋の片付けと、ﾊﾟｷﾝｸﾞをした。まあ大体終わっていたのでそうは手間が掛からなかった。その後、Teacher　ALMA の家にﾃﾞｨﾅｰに　　と一緒に招待された。先日ﾎｯﾄｽﾌﾟﾘﾝｸﾞに行ったいとこがﾚｽﾄﾗﾝでｼｪﾌをやっているので、今日は彼が料理を作ってくれるそうだ。
TEACHER の家には 6 時半ごろ着いた。もう既にﾃﾞｨﾅｰの仕度は出来ていた。ﾌｨﾘﾋﾟﾝの代表的な「ｼﾆｶﾞﾝｽｰﾌﾟ」と肉と野菜の炒め物が 2 品付いた。
私への送別の招待に併せ独身のいとこを教え子の女子学生に紹介したいとの先生の意図もあったようだ。
前回のﾎｯﾄｽﾌﾟﾘﾝｸﾞの時は気が付かず、今回は雰囲気で判ったので気を使って二人で話しが出来るよう私は先生と、その旦那中心に会話を続けた。しかし従兄弟はあまり英語が喋れないようなので、話が進まず先生の思惑通りには行かなかったようだ。
寮に帰る時、先生が私の血圧に気を使って、これを飲めば下がると言って蜂蜜の大瓶を土産にくれた。帰る寸前、9 時頃に急にｽｺｰﾙが降りどうなる事かと心配したが、小降りになったので、旦那が捕まえてくれたﾀｸｼｰに乗って、10 時前には、宿舎に着いた。

Teacher　Alma 家の Dinner　ｼﾘｶﾞﾝｽｰﾌﾟ　鳥の空揚げ等

宿舎の冷蔵庫にはﾗﾑ酒 1 本とｶﾝﾋﾞｰﾙ 7 本が残っていたので、まだあと 2 週間滞在するﾊﾟﾘ人と聖ちゃんの部屋に持って行った。ただﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙへ行く前ｺﾘｱﾝのｶﾝが部屋に訪ねて来るというので、乾杯用に缶ﾋﾞｰﾙ 2 本は残した。
ﾊﾟﾘ人、聖ちゃんの部屋に行き、お世話になったお礼と雑談を約 40 分位して部屋にもどった。間もなくｺｰﾘｬﾝのｶﾝとﾊﾞｯﾁﾒｲﾄのﾌﾗﾝｸが別れの挨拶に部屋へ来てくれた。
最後のバカ言っている内にﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙまで送ってくれる学校の車が到着した。
初めは食堂前に集合と言う事だったが、荷物が重くそこまでは行けないよと文句を付けたら部屋まで迎えに来てくれる事になった。まだまだ、ごねると便宜を図ってくれる。
昨年のﾏﾚｰｼｱではｱﾒﾘｶﾅｲｽﾞされ杓子定規でこう言う融通は効かなかった。
外では、雨の中ﾊﾟﾘ人、せいちゃん、ｱｽﾞ、ﾊﾞｯﾁﾒｲﾄのﾌﾗﾝｸが見送りに来てくれていた。感激。

ﾊﾞｯﾁﾒｲﾄのﾌﾗﾝｸ

ｱｽﾞ　　聖ちゃん　私　　ﾊﾟﾘ人

20 分程してﾋﾞｸﾄﾘｱﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙに着いた。
ﾊﾞｷﾞｵは鉄道が無く、交通手段はﾊﾞｽしか無いのでそれぞれ行く先別に別々のﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙがある。
私は世界遺産のﾊﾞﾅｳｪｲ行きのﾀｰﾐﾅﾙ、ｻﾝﾍﾙﾅﾝﾄﾞの海とﾗﾜｸﾞ、ﾋﾞｶﾞﾝ行きのﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ、ﾉｴﾐのﾎｰﾑﾀｳﾝ行きのﾀﾞﾝｸﾞﾜﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙと今回ﾏﾆﾗ行きのﾋﾞｸﾄﾘｱﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙとﾊﾞｷﾞｵにある四つのすべてのﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙを利用した事になった。かなり活動的な二ヶ月だったな。
ﾀｰﾐﾅﾙは金曜日で休み前なので、かなり込み合っていた。
ﾀｰﾐﾅﾙには送りに来てくれた、やよ、ﾁｪちゃん、ｺﾘｱﾝのｳｲﾘｱﾑ、ﾀﾞﾆｴﾙとすぐ落ち合った。
今日は忙しく、彼らとは話が出来なかったが、忘れずに送りに来てくれた。感謝、感激。

ｳｲﾘｱﾑ　　ちえ　　やよ　　一緒に遊んでくれて有難う！

ﾊﾞｽは予定通り 12:10 出発した。通常のﾛｰｶﾙﾊﾞｽだと食事とﾄｲﾚﾀｲﾑの 2 回の休憩を入れて 8 時間、混雑時は 10 時間かかる。私は最後の奮発でﾃﾞﾗｯｸｽﾊﾞｽを選んだ。これだと車内にﾄｲﾚが付きﾉﾝｽﾄｯﾌﾟで 5～6 時間でいける。

席でこの二ヶ月を思い出しながら、うとうとしている内に辺りが明るくなりﾏﾆﾗ市内に入った。ﾏﾆﾗは結構大きな町で朝から人が沢山繰り出し活気があった。街中をかなり走ってﾊﾟｻｲのﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙに朝の 7 時過ぎには着いた。

ﾊﾞｽを降りるとすぐにﾀｸｼｰの呼び込みが来た。ﾀｰﾐﾅﾙを出て流しのﾀｸｼｰを捕まえれば安くすむが、物凄く込み合っていて大きな荷物を持っているので、そんな余裕は無い。

前もって料金を聞いていた。ﾒｰﾀｰで行くと空港まで 150ﾍﾟｿ（300 円）だが、かなり吹っかけて来るそうで、300ﾍﾟｿ程度に値引すれば妥当な値段だそうだ。私の場合当初 400ﾍﾟｿで言ってきた。ﾃﾞｨｽｶｳﾝﾄ、ﾃﾞｨｽｶｳﾄと言って 250ﾍﾟｿで話がまとまった。成功の方ではないか。こつはなまじ覚えた会話で話すのではなく、当方の主張を単語のみくりかえすのだ。今回は discount の単語のみで通用した。

空港には 30～40 分の道のりだった。運ちゃんは法外な値段を吹っかけて来るから、雲助のたぐいと思っていたら、話してみると意外にｼｬｲな男だった。ﾏﾆﾗのﾀｸｼｰは法外な値段

を吹っかけるのは一種の文化だろうか。ﾊﾞｷﾞｰではすべてﾒｰﾀで行ってくれた。
ﾌﾗｲﾄは午後 1:30 で時間は十分あった。1 人では時間をつぶすのが大変だった。

ﾏﾆﾗ発 10：35　台北着 12：35

台北発 14：20　成田着 18：35

無事飛行機に乗り、台湾での乗り換えもｽﾑｰｽに行き、午後 7 時前に成田に着いた。
家には午後 9 時過ぎに着き、さっそく風呂にゆっくり入り、刺身で日本酒の一杯だった。
これで今回の逃避行記は終わるが、追加で思いついた事をおいおいい載せていくつもりである。

思い出　ｻﾝﾌｪﾙﾅﾝﾄﾞの海岸

荷台に豚が乗っているのが判るかな